

維新と吉村府政が進める

大阪府・市 行政の一元化で大阪の成長・発展を加速

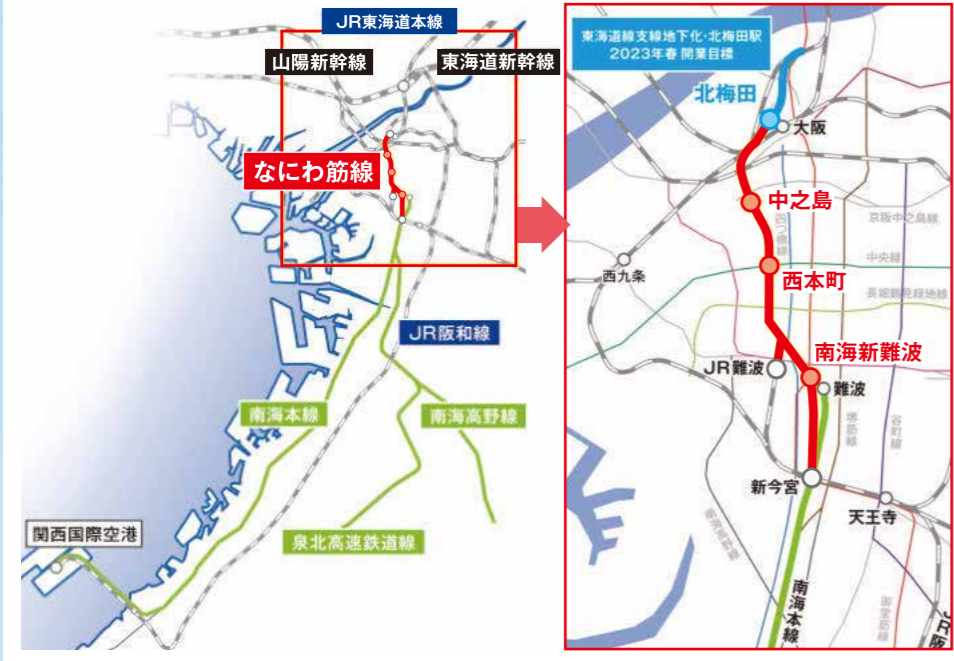
リニア・北陸新幹線の全線開業により形成される新幹線ネットワーク

大阪-名古屋-東京が約1時間で結ばれ、3大都市圏で人口約7000万人、国内総生産約300兆円という世界最大のスーパーメガリージョンが形成される。全国で年間1兆5600億円の経済効果が期待される。



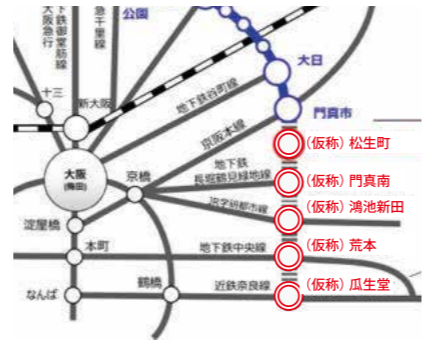
なにわ筋線・経済波及効果は8520億円

大阪中心部と関西国際空港を結ぶ「なにわ筋線」は、2031年春の開業を目指し工事が進められている。大阪の国際競争力強化、ひいては関西の活性化に資する新たな鉄道建設事業。



大阪モノレール延伸

この延伸により、大阪メトロ長堀鶴見緑地線・JR学研都市線・近鉄けいはんな線・近鉄奈良線の4路線と新たに結節し、在来10路線とのネットワークが形成されることになる。



2023

阪神高速道路・淀川左岸線2期工事

大阪都心部と大阪湾の人工島、夢洲をつなぐアクセス道路の1つ。完成は2032年度から2034年度の見通し。



中之島4丁目 未来医療国際拠点

ゲノム医療やAI診断などの最先端医療を提供する医療機関と、その開発に取り組む企業、ベンチャーさらには支援機関が同じ建物に集積する全国初の拠点となる。2024年春の開業をめざす。



外観パース：開発事業者による事業計画書より抜粋

大阪公立大学

2025年度開所。大阪の成長・発展を支える「知の拠点」となる。



森之宮キャンパスの完成イメージ(基本設計資料)

躍動する大阪

大阪の成長・発展

国際金融都市の実現

2040

スーパー・メガリージョンの形成・強化
リニア中央新幹線・北陸新幹線大阪開業

IR開業

大阪IR誘致の効果

- ◆納付金+入場料⇒毎年1,060億円の収入
- ◆土地の貸付・インフラ整備の負担金⇒約1,000億円の収入

財源活用による住民サービスの充実

- ◆必要施策に、約55億円/年
 - ・ギャンブル等依存症対策
 - ・警察力の強化
 - ・消防力の強化
 - ・夢洲のインフラ関連
- ◆一般施策に、約1,000億円
 - ・子育て、教育環境の充実、健康医療等の社会福祉増進施策
 - ・障がい者、高齢者、生活困窮者等社会的弱者への支援施策
 - ・文化芸術の振興施策
 - ・観光の振興施策
 - 等



出典：区域整備計画(概要版)
イメージパースは現時点での想定イメージであり、今後の計画調整等により変更することがあります

淀川左岸線(2期)工事
なにわ筋線の整備

2030

大阪モノレール延伸

2025

大阪・関西万博

うめきた2期先行まちびらき
中之島4丁目未来医療国際拠点オープン
大阪公立大学森之宮キャンパス開所

世界最大級の都市公園「うめきた公園」(うめきた2期地区)

2024年夏頃の先行開園、2027年春頃の全面開園の予定。



うめきた2期地区開発のイメージ(提供：うめきた2期開発事業者)



会場全景(提供：日本国際博覧会協会)

大阪・関西万博

経済波及効果は約2兆円!

テーマ:いのち輝く未来社会のデザイン

開催期間:2025年4月13日(日)~10月13日(月)

開催場所:大阪 夢洲(ゆめしま)

想定来場者数:約2820万人

空飛ぶクルマ:ベイエリアを中心に商用運航を実現
自動運転:万博会場へのアクセスや会場内の移動で実現
関西MaaS:万博来訪者向けのMaaS構築